



# 桜だより



2022年6月22日発行

## カラフルな絨毯に込められた思い

16日(木)は、聖体祭(Corpus Christi)でした。「キリストの聖体を崇める日」というこの日は、ブラジル各地で毎年珍しいイベントが執り行われています。セントロにあるカテドラル・メトロポリターナ(リオデジャネイロ大聖堂)でも、たくさんの人たちが地面に砂でカラフルな絵を描いていました。現代的なタイプの装飾としては、食べ物でできているものもあるそうですが、ブラジルの人々の信仰心を感じる一日となりました。



学校では現在、「わたしたちのRIO」(社会科副教材)の改訂作業を行っています。ブラジルの祝日に込められた意義を学び直すことでも、この国の姿がよく見えてくると思います。子どもたちと一緒に、ブラジルを発見する学びを続けていきたいと思っています。



さて、早いもので1学期も残すところ、1か月を切りました。中学部は来週から期末テスト週間、小学部も単元テストを行いながら、まとめの時期に入ります。冬休みに入る前に、1学期に学習したことがしっかりと定着するよう指導をしていきます。

## 避難訓練(火災)

「訓練!訓練!コジーニャから火災発生」

子どもたちは、教室の窓を閉め、ハンカチで鼻と口をふさぎながら静かに避難をします。

3日(金)、今年度3回目の避難訓練を行いました。今回は火災発生時の避難の仕方についての訓練です。コジーニャから発災したとの想定での訓練でしたが、火を使う場所は他にも理科室や事務室もあります。また電気による漏電やショートでも火災は発生しますので、どこからでも発災の可能性はあります。



大事なことは、どこで火災が発生したのかを確認したら、火元を避けるように避難することです。また、実際の火災では煙も脅威となります。姿勢を低くしハンカチ等で呼吸を確保しながら逃げるためには、やはり日頃の訓練が大事となります。

当日は、安全担当の河田領事様にも訓練の様子を見ていただき、子どもたちにもお話をいただきました。

最後に、みんなで学校にある消防施設(消火栓・消火器)の確認をして訓練を終了しました。





## Lycée Molière 校訪問

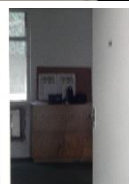
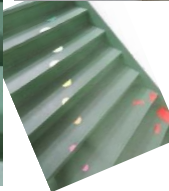
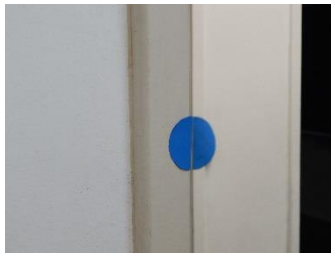


夏至にあたる6月21日、一年で一番太陽が出ている時間が長いこの日に、パリでは「音楽の日 (Fête de la Musique)」のイベントが開催されます。ここブラジルでもフランス人学校で音楽にちなんだ様々な催しが行われるそうです。音楽科の熊本先生が勤務する Lycée Molière 校では音楽会が開かれ、そこに

日本人学校の児童生徒を招待していただきました。学校に着くと3人のフランス人学校の生徒さんが、学校案内をしてくれました。とても大きな学校で、学んでいる子どもたちは、小さな子から高校生位まで年齢幅は大きかったです。先生や働いているスタッフの数も多く、子どもたちにとっては新鮮に映ったようです。歌の発表を聞いた後、最後に日学の子どもたちもステージに乗せていただきました。音楽の時に密かに練習をしていた「We Are The World」を、会場のみんなと一緒に大合唱して終わりました。



## ここから見ると 高学年図工



高学年の図工では、向こうから見ると分からないけど、ここから見ると「なるほど」となる、奥行きを使った作品作りをしました。みんなで何度も大きさや位置を調整しながら、楽しそうに活動していました。



左の作品 階段の段差を使った作品  
右の作品 廊下を挟んだ教室の壁を使った作品

## サンパウロ日本人学校と授業交流 5年

15日(水)に、サンパウロ日本人学校の5年生とオンラインで国語の授業を行いました。今回学習したのは「どちらを選びますか」(対話の練習)です。二つの立場から考え、理由をつけてたくさんの意見を出し合います。そして質疑応答をしたり、問題点を比べたりしながら、どちらの考えに説得力があるのかを考える授業です。リオ日学の5年生は現在1名ですので、同世代の子どもたちと意見交換できたことは貴重な学びとなりました。今年度はこれが最初の交流授業ですが、今後も機会を見つけて交流授業を行っていく計画です。



## 走れ走れ! 朝トレ

昨年度からはじめた朝トレ。今年度も低学年は週3回、高学年は週2回行っています。5分間を自分のペースで走りきることを目標に、毎回元気に走っています。学校では「日本一周マラソンの旅」カードを使いながら、楽しく体力づくりに取り組んでいます。

